

【施設状況】

グループ名称	老人憩の家（石川、大豆島、茂菅、若槻、新橋、東長野）								
指定管理者名	長野県高齢者生活協同組合					法人番号	9100005001801		
所管課	主	101000	高齢者活躍支援課	副					
構成施設	1400	石川老人憩の家			1393	東長野老人憩の家			
	1383	大豆島老人憩の家							
	1406	茂菅老人憩の家							
	1404	若槻老人憩の家							
	1390	新橋老人憩の家							
施設分類	06	保健福祉2型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	大広間、静養室、浴室、脱衣室、事務室等								
施設設置目的	高齢者の相互交流・教養の向上、レクリエーション等の場として、心身の健康の増進を図る。								
基本方針等	施設の適正な維持管理に努め利用者に良好なサービスを提供するとともに、各種講座、イベントの開催といった事業実施により、施設の設置目的である「高齢者の相互交流」「教養の向上」「レクリエーションの普及」を図る。								
主な実施事業	高齢者に対して、教養の向上、レクリエーション等の場を与え、心身の健康増進を図る。 浴場の提供								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・ 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・ 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・ 協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・ 協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・ 管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・ 協定、事業計画が全て実施されない ・ 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・ 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	長野県高齢者生活協同組合			指定回数	4 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	石川老人憩の家 利用者数		21,344	21,420	19,448	17,655	91%	
	大豆島老人憩の家 利用者数		22,071	21,313	19,404	19,272	99%	
	茂菅老人憩の家 利用者数		14,634	14,696	13,467	14,002	104%	
	若槻老人憩の家 利用者数		17,118	18,000	17,049	16,676	98%	
	新橋老人憩の家 利用者数		11,781	11,291	11,968	11,282	94%	
	東長野老人憩の家 利用者数		13,984	14,465	13,023	15,237	117%	
					94,359	94,124	100%	
(特記事項) 施設内外の工事のために臨時休館日を設けたり(石川・大豆島)、新橋ではタンクローリー車の不具合の為源泉による入浴業務ができなかったなどで、6館の総合計数は前年度の94,358人→94,124人と微減したが、1日当たりの平均利用者(6館平均)では、53.96人→55.44人と約1.5人の増加となった。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 入浴設備の提供 はり・マッサージ事業 						
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 趣味の教室(生きがい講座、リサイクル小物づくり等) 健康に関する企画(病気・口腔ケアなどの講話) 食と農に関するもの 健康づくり・介護予防講座(体操、音楽療法、認知症予防) 鑑賞・交流に関するもの(桜・秋祭り・お笑い演芸会等) 東長野利用者発表会(春季・秋季) 近隣保育園・幼稚園に互いが赴き、交流会 ボランティア活動その他地域活動に関するもの 		<追加事業> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア(研修生)の受入れ 法律、終末セミナーなど家族の不安解消講座の実施 夏祭り、クリスマス、餅つき、節分など季節企画 正月、バレンタイン(ホワイト)デーでの感謝企画 手ぶらで憩の家企画(入浴用品等販売促進) 季節の花の苗や種の無料配布、バザー ポイントカードの実施 				
サービス維持・向上の取組み(広報等)	講座やイベントは、地区回覧や有線放送、新聞募集欄等を使って広く周知し、地域の活動として実施している。季節の祭り等各種イベントを開催し、世代間交流企画を行うことにより、幅広い年代に施設を知ってもらうことで利用促進及び地域交流に努めている。利用頻度に応じたポイントカードサービスの実施や、地域から提供いただいた物品でバザーの開催など、また音楽関係の講座やイベントは人と人をつなげる具体的な方法として特に強化して実施している。							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
(2) 調査、会議等の内容		<ul style="list-style-type: none"> 館内に、「利用者の声」コーナーとして、アンケート用紙とアンケートボックスを設置し、来館者からの広い意見を求めている。コーナーは、多くの来館者が利用するロビー等に設置し、飾りつけや張り紙など、目立つように工夫している。 年に複数回開催する利用者懇談会等で要望を集約している。 日常的な利用者とのコミュニケーションにより生の声を拝聴している。 		
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果	<ul style="list-style-type: none"> 感想と要望その他について、「利用者コーナー」としていただいた意見は、回答(報告)として、施設に掲示しました。口頭などで頂いたものについては、職員間での話し合いの上、即時改善可能なものは改善し、金額がかかるもの等は、改善に向けて調整等を行った。 利用者懇談会での内容は、報告として施設に掲示した。 		
	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> お風呂が温かく、とてもうれしい。浴室・トイレも古い綺麗にしており気持ちよい。 職員さんの心遣いがうれしい。体調管理を気にかけてくれてうれしい。倒れた人への救急対応もしっかりしているので、安心できる。家族(利用者)が困って来館した時も、優しく見守ってくれてとても助かった。 財布がなくなった時、駐車場でトラブルなどの時、親切に対応してくれてうれしかった。 職員の対応をみて、自分も周りの人には、やさしくしないとイケない、と思うようになった。 楽しいイベントを数多くやってくれるので、来るのが楽しみ。 園児との交流が楽しい。発表会の職員企画も楽しく、自分たちにここまでやってくれてうれしい。音楽講座や風呂の日、正月の企画もうれしい。 		
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項	<ol style="list-style-type: none"> トイレを水洗化・男女別にしてほしい(ほとんどの来館者からの要望) お風呂の湯温に対する意見、蛇口の湯温やお湯の出が一定でないなどがある。 ほかの施設にあるような音響機器・ロッカーを用意してほしい。 健常者は値上げして障害者と付き添い無料のままなのは絶対おかしい。 体中に発疹がある利用者の後は気持ち悪く、入浴できない。また、刺青利用者を禁止して欲しい マナーが悪い利用者がいる。何とかしてほしい。 		
	<<対応措置>>	<ol style="list-style-type: none"> 大規模の修繕を要する箇所は物理的に可能不可能の問題もありますが、意見として要望を上げています。なお、古い施設ですので、衛生管理・清掃には特に気を付けて、気持ちよく利用いただくよう心がけています。 可能なものは準備でき次第対応し、難しい事項は代替品で対応したりと、実現に向けて相応の取り組みを行っている。 経費面での課題はありますが、他施設同様設置させていただきました。 多くの方から同様の意見をお聞きしていますので、条例に係る部分として意見を上げています。 条例または衛生上問題となる場合でなければお互い理解し合う観点でのご理解をお願いします。 迷惑行為を確認した場合、責任を持って対応します。 		

3

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価						
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）								
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額							
	収入	利用料金 11,470,000 指定管理料 60,072,000 委託料 販売収入等 その他収入	利用料金 10,143,460 指定管理料 60,072,000 委託料 販売収入等 その他収入	歳入	使用料 雑（納付金） 行政財産 目的外使用料 貸付料 その他	79,200	使用料 雑（納付金） 行政財産 目的外使用料 貸付料 その他	122,400		計	71,542,000	計	70,215,460	計	79,200
支出	人件費 31,121,000 設備管理費 6,181,000 備品購入費 2,176,000 修繕費 1,490,000 光熱水費 21,218,000 事業費 151,000 事務経費 2,015,000 本社経費 4,920,000 その他 2,270,000	人件費 31,459,422 設備管理費 6,880,144 備品購入費 1,458,025 修繕費 1,408,165 光熱水費 19,925,941 事業費 480,426 事務経費 1,826,384 本社経費 4,794,800 その他 2,856,853	歳出	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	60,072,000 307,161 356,400 1,856,961 114,640	指定管理料 委託料 需用費 役務費 使用料・賃借料 修繕費 工事請負費 備品購入費 その他	59,403,000 151,578 770,040 1,231,200 1,301,378	計	71,542,000	計	71,090,160	計	62,707,162	計	62,857,196
自主事業	収入		収入	1,078,941											
	支出		支出	696,872											
	自主事業損益	0	自主事業損益	382,069											
	損益	0		-492,631	差引										
	人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）										44.3%				
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				教育・研修会の実施主体変更の為（一部の管理者研修などを、全体から業態ごと実施）										

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 『石川、大豆島、茂菅、新橋』 所長(常勤)各1名、スタッフ(非常勤)各1名(各施設4名でローテーション) 『若槻』 所長(常勤)1名、スタッフ(非常勤)1名(5名でローテーション) 『東長野』 所長(常勤)1名、スタッフ(非常勤)1名(3名でローテーション)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	4			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が主体で芸能を披露しあい見学できる企画として、季節毎お祭りを実施（桜夏祭り）、クリスマス会他季節企画実施。地域住民から農作物の差し入れ頂き、茶館者に提供。※地元区長も来賓参加頂く。 ・地域世代間交流として、近隣の保育園・幼稚園との交流を互いの施設で定期的実施（カルタ他伝統風習、歌や折り紙、運動会等への参加） ・利用者懇談会による地元ニーズの吸い上げ、地元在住者との意見交換 ・地元雇用を前提とした体制づくり、地元事業者を優先した購入と修繕 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の障害福祉団体製造の軽食等の販売による地域支援。 ・老人会による施設庭の清掃と植樹。公民館への駐車場貸出を継続。施設休館中の地域サロンの実施。祭り披露団体の地域への派遣。地域と保育園児の地域歴史を伝える交流会。 ・回覧に、マッサージや地域サロン、ケアマネ相談会の紹介 ・ギャラリーに地元の園児たちのお礼の作品と写真展を展示 ・県が企画したクール（ウォーム）シェアなどの事業に参加 </td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が主体で芸能を披露しあい見学できる企画として、季節毎お祭りを実施（桜夏祭り）、クリスマス会他季節企画実施。地域住民から農作物の差し入れ頂き、茶館者に提供。※地元区長も来賓参加頂く。 ・地域世代間交流として、近隣の保育園・幼稚園との交流を互いの施設で定期的実施（カルタ他伝統風習、歌や折り紙、運動会等への参加） ・利用者懇談会による地元ニーズの吸い上げ、地元在住者との意見交換 ・地元雇用を前提とした体制づくり、地元事業者を優先した購入と修繕
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が主体で芸能を披露しあい見学できる企画として、季節毎お祭りを実施（桜夏祭り）、クリスマス会他季節企画実施。地域住民から農作物の差し入れ頂き、茶館者に提供。※地元区長も来賓参加頂く。 ・地域世代間交流として、近隣の保育園・幼稚園との交流を互いの施設で定期的実施（カルタ他伝統風習、歌や折り紙、運動会等への参加） ・利用者懇談会による地元ニーズの吸い上げ、地元在住者との意見交換 ・地元雇用を前提とした体制づくり、地元事業者を優先した購入と修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の障害福祉団体製造の軽食等の販売による地域支援。 ・老人会による施設庭の清掃と植樹。公民館への駐車場貸出を継続。施設休館中の地域サロンの実施。祭り披露団体の地域への派遣。地域と保育園児の地域歴史を伝える交流会。 ・回覧に、マッサージや地域サロン、ケアマネ相談会の紹介 ・ギャラリーに地元の園児たちのお礼の作品と写真展を展示 ・県が企画したクール（ウォーム）シェアなどの事業に参加 			

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
合計得点			62

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者として施設の目的に沿った事業運営を実施している。 ・季節ごとに地域の人を呼び込んでお祭りを実施したり、地域世代間交流として幼稚園・保育園児との相互交流を実施したりなど、地域との連携に根ざした施設運営がされている。 ・施設の行事を地区回覧で定期的にお知らせするほか、地域の情報を施設で周知するなど、積極的に地域との連携に取り組んでいることから、「地域連携」は「4」とした。
------	---

取組み・改善案等（施設所管課）	前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
利用者が減少傾向	29年7月に実施した利用料金の改定、工事等による風呂の営業中止などが影響し、全体の利用者数は減少したが、1日あたりの利用者は増加している。	引き続きサービス内容の改善・向上に取り組んでいく。	

次年度の目標・取組み等（施設所管課）	利用者の幅広いニーズを把握し、魅力ある講座やイベントを展開し、サービスの向上に努める。
--------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

A. 施設的环境作り

1) 来館者に常に「笑顔、ゆっくり、はっきり。傾聴、気配り」を感じてもらえる運営に心がけている。1日を通したコミュニケーションで高齢者の持つ日常の不安や悩みを少しでも緩和できる利用者対応を最重要としている。2) 館内には彩や季節感など、常に変化をもたらず工夫している(掲示物、玄関交流ボード、ギャラリー作品展、七夕や雛人形、音楽、花の苗・種の交換会)利用者同士の会話のきっかけなど効果がある。

B. 自主事業など企画の実施による利用者及び地域サービス

1) 企画する自主事業は紙や報道機関等で広報し呼びかけ、多くの方に活動を知ってもらうように努めた。またティッシュペーパーに施設の案内を販促として折り込んだり施設の案内(チラシ)も作成し、地域に回覧し、集客に結び付くよう、継続して活動を行った。2) 体の痛み、音楽療法等介護予防・認知症予防、モノ作りなど趣味の講座、不安解消の為に「行政書士・終末相談」など多数実施。専門のケアマネを毎月派遣し、「介護等福祉相談会」も実施した。カラオケは希望に応じ回数を増加。また、利用者懇談会を開催し、利用者及び地域の方々の意見を聴く会を設けた。3) 憩の家祭りを利用者主体で実施。地域から披露する方も増え、来賓として区長さんや近隣の高齢者施設も招待し地域間交流に努めている。季節に合わせたお茶会も憩の家の庭園で実施。4) 地域の会を招いてのイベントに保育園児を招待し、地域の歴史を伝える企画を行ったり、園のイベントに参加したりと、世代交流企画の実施。準備から終了後の写真展示もお互いの計画と成果の場となっている。

② 業務の効率化に対する取組み

1) コスト削減・業務の効率化に対する取組み

・電灯、水道の節約、効率的なボイラー管理、空調の効率のかつ経済的な運営を利用者の協力を得て継続実施。
・日時清掃・点検の徹底により、不具合が深刻な状態にならないよう管理を行っている。特に修繕で可能な箇所は極力内部職員で行い、他施設からの応援により修繕スキルも身につけている。又、利用者の自発的な協力も頂いている。なお、除雪は極力本部応援を含む内部職員で対応した。
・消耗品の節約及び業者依頼の場合の地域的に効率的な手配(関係づくり)を心がけている。一方一括購入による経費削減も特に重視。
・雨水装置設置により、庭木の水管理を特に経費面で効果的にしている。

2) 効率的かつ意欲的な業務に向けての取組み

a) 下記点でのミーティングと報告(月報・随時)により、常に公共の施設で意識の向上をもてるよう環境づくりを行なっている。
・効果的な運営のために行っていること(日常業務) ・利用者、地域に関する取り組みとその成果 ・新たな課題、取り組み目標 ・施設の各種点検と改善(修繕)箇所 ・利用者の声(良い声・要望・苦情) ・事故報告、ひやりはっと、にっこり報告
b) 福祉団体として内部で実施するスキルアップについて、積極的に職員に受講を呼び掛けている。

③ その他

1、利用者とは協同しての施設(ボランティア意識をもつ)の一環として、下記の取り組みを行いました。
a) 施設及び地域のイベントへの発表として、利用者または地域芸人の紹介と披露の場の提供。披露いただいた団体の地域への紹介。また、利用者には屋外の清掃(落ち葉や除雪)の協力も頂いている。老人会では定期的に施設周りの草取り・花壇の手入れをしていただき、作業終了後は入浴・茶話会で施設を利用頂いています。
b)、地域の福祉学校の生徒及び福祉を目指す研修生の受け入れ。館内の業務を体験し、利用者からも継続して評価を頂いています。
2、危機管理・安全衛生管理等について
・「ひやりはっと」「リスクアセスメント」「事故報告」、事故予防のための学習会(組織として「安全衛生会議」)を実施し、下記観点での各事業所会議及び公共施設長会議にて定期的な意識持続と強化(職員と利用者相互の)とスキル強化を目的として学習を共有している。
(1)湯あたりなどの急病人への応急処置方法を消防他福祉職員研修を通じて学ぶ。高齢者の観点でヒートショック対策を実施。利用者からの「発見・通報」も重要な為、浴室内で「1人になる」状況を極力作らないよう協力をお願いしている。(2)主として入浴時と駐車場内での盗難被害予防
(3)レジオネラ菌、感染症や熱中症への対策(4)各マニュアルと点検シートの見直し、担当外職員による衛生管理・事故予防等の巡視
(5)地震など災害が発生した場合に備えての手順と緊急確認意識の再確認

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・施設は入浴を主としており、不特定多数の高齢者が利用することから、入浴中の事故・トラブルの未然防止のためには様々な観点での取り組みを意識しています。来館した利用者の体調の変化・異変に気づくことへの能力は非常に重要ですが、入浴の利用の判断は、利用者個々の自己意識・自己判断によるところが非常に大きいため、施設としての啓蒙活動に無関心な方に対しての事故防止策も必要になります。
・館内での利用者物品の管理・車内の管理などは、利用者の予防意識を備える、そのための機会を設けるなど、施設側として前提となる備えを行った後は利用者責任に委ねる部分が生じてきます。職員の日常的な見回り強化はもちろんですが、近年は不審人物の来館機会が増え、ロッカーを可能な施設には配置していますが、鍵をかけるなど利用者の協力も含めて職員による見回り・呼びかけ・注意深い観察力を要する場面が増え、準備周到な不審者に対し職員の精神的な負担・求められる意識も過大となっています。また犯行時は警察他関係機関への連携を密としますが、警察からは防犯カメラの設置を求められたり、犯行者に対しての指摘には危険を伴うなど懸念は大きい。
・今後の福祉施設に求められる運営として、幅広い企画(自主事業)が重要ですが、公共施設としての制約(統一性)や行政財産の使用など経費が必要となる場合など、利用者サービスとは異なる面での手続きの為に指定管理者としての裁量(判断)で進めにくい状態にあります。
・憩の家は全体的に、駐車場の不足または公共交通機関面で不便があります。駐車場と交通手段の確保(充実)は、利用者にとって大きな来館の理由となっていますが、特にイベント企画時など大勢の来館が見込まれる場合、来館者には逆に駐車スペース不足で不便となる場合もあります。
・水道、ボイラー関係配管など全面改修が必要な状態が続いているため、都度の小規模配管修繕が定期的に発生していること。

(3) 総合評価 評価基準(計画=事業計画)

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

憩の家は、常連の利用者が多いのが現在までの特徴である。今までの施設運営の様子を見てきた方も多く、様々な課題に対し施設職員はその方たちとともに日常の会話を大切に、求めるニーズを確認しながら自主事業の取り組みの参考としてきた。ここ近年は施設の紹介を他施設配布や広報・回覧でお知らせしてきたこともあり、新しい利用者も増えつつある。新しい方々がリーダーとして来ていただけのおもてなしを職員はもちろんであるが、常連の利用者さんの協力もいただける状況が増えている(マナーを守るお手本・イベントには皆で参加協力するなど)。慣れた方も初めての方も互いに受け入れあって心と心空間を築き、他人の価値観や新しい出来事を受け入れる気持ちを相互に持っていたくことは、これからの地域づくりにとって最も重要な目的であり、その具体的な手段が憩の家にはあると感じている。そして少しづつ形になってきていると感じる。
現状の福祉制度や社会保障制度の変化はめまぐるしいスピードで変化しており、憩の家の利用者はそれらの制度の対象として日々不安な気持ちを送っている。それらの不安を少しでも解消するような日常的な会話やお知らせが必要である。これらの目的に対し人を相手とする福祉施設であるからこそ、利用者や地域の意見を確認しながら慎重に同じ気持ちで運営していかないといけない。制度の変化に備えつつ、地域と協同する運営を、現場と本部とともに連携して運営してきた。当該年度で新規に行った企画はそう多くはないが、毎年継続して企画し、前年度の課題を次年度に生かすという観点で、運営するすべての事業について今後につながるものであったと振り返る。よって「施設の目的・意義」に向けて進めた事業は計画通りと自己評価した。

② 次年度以降の取組み

A. 収支面、利用促進面

1) 利用者の協力を目的とした水道光熱費・燃料費の節約。また全体的な経費の研究。
2) 憩の家の活用拡大のための企画・宣伝活動。地域と連携した事業。
3) 利用率アップのほか、収益に繋がるサービスを企画・実施する。

B. 公共サービスとしての施設の役割の確認

【高齢者が「独りにならない、しない」施設】、【心と体の健康づくりに貢献する施設】、【地域・社会に関わり、みんなが元気になる施設】
のため、相手の気持ちを尊重し、誠意をもった対応と「人」としての対応を福祉の観点で対応することを利用者と共に職員がもつことを最も重要とする。その観点で利用者主観による祭り運営・講座・趣味の生きがいなどを地域の人々と幼稚園・公民館ほか類似施設とともににより運営に協力を得られる地域作りをもつ。→「憩の家」の役割と立場の「連携」地域包括ケアシステムの一施設として、施設単体としての自主事業を重要としながらも、地域他団体と連携して総合的な地域づくりの点からも、地域連携観点での事業の企画を推進する。また、施設としての数値増加の観点からは、常連の方のほか、利用対象(60歳)になって間もなく利用したいと思える企画運営を常に心がける。